

調 査 結 果

1 放射線測定所における測定結果

ア 空間放射線空気吸収線量率

大山測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月	1	2	3	過去10年間の変動幅
最大	90	74	62	43 ~ 139
最小	27	26	29	18 ~ 32
平均 (M)	33	32	34	25 ~ 36
標準偏差 (σ)	7	5	5	1 ~ 10
M + 3 σ を超過した時間数	16 時間	14 時間	22 時間	8 ~ 28 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	178 nGy	147 nGy	114 nGy	30 ~ 316 nGy

吉坂測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月	1	2	3	過去10年間の変動幅
最大	124	80	65	47 ~ 235
最小	28	29	34	18 ~ 38
平均 (M)	38	37	39	26 ~ 43
標準偏差 (σ)	11	6	4	1 ~ 18
M + 3 σ を超過した時間数	17 時間	14 時間	21 時間	7 ~ 30 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	328 nGy	113 nGy	70 nGy	16 ~ 743 nGy

倉梯測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月	1	2	3	過去10年間の変動幅
最大	86	76	71	56 ~ 146
最小	43	42	47	29 ~ 50
平均 (M)	52	49	50	41 ~ 55
標準偏差 (σ)	7	4	4	1 ~ 11
M + 3 σ を超過した時間数	28 時間	11 時間	20 時間	5 ~ 28 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	143 nGy	60 nGy	66 nGy	9 ~ 380 nGy

(注) 1. 測定値は宇宙線の寄与を含まない。

2. 標準偏差 (σ) は測定値のばらつきの程度を表し、測定値が (平均値) + (標準偏差の3倍) の範囲にあれば、ほぼ平常の変動幅の範囲内であるとされる。この幅を超えた場合は、気象条件等の原因を検討する。

塩 汲 測 定 所

単位：ナノグレイ／時 (nGy/h)

月	1	2	3	過去10年間の変動幅
最 大	101	82	64	49 ~ 188
最 小	27	28	34	17 ~ 37
平 均 (M)	37	35	38	25 ~ 41
標 準 偏 差 (σ)	10	6	4	1 ~ 13
M + 3 σ を超過した時間数	21 時間	13 時間	24 時間	8 ~ 31 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	264 nGy	116 nGy	77 nGy	35 ~ 418 nGy

岡 安 測 定 所

単位：ナノグレイ／時 (nGy/h)

月	1	2	3	過去10年間の変動幅
最 大	102	66	59	48 ~ 177
最 小	30	31	35	19 ~ 37
平 均 (M)	39	38	38	29 ~ 42
標 準 偏 差 (σ)	9	5	4	1 ~ 14
M + 3 σ を超過した時間数	18 時間	14 時間	19 時間	5 ~ 31 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	256 nGy	84 nGy	56 nGy	16 ~ 545 nGy

老 富 測 定 所

単位：ナノグレイ／時 (nGy/h)

月	1	2	3	過去10年間の変動幅
最 大	102	81	63	55 ~ 211
最 小	28	28	35	18 ~ 44
平 均 (M)	39	36	42	29 ~ 49
標 準 偏 差 (σ)	10	7	5	1 ~ 17
M + 3 σ を超過した時間数	22 時間	13 時間	19 時間	3 ~ 28 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	175 nGy	150 nGy	50 nGy	14 ~ 635 nGy

(注) 前項に同じ。

日出測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月	1	2	3
最大	84	64	70
最小	28	32	35
平均 (M)	39	38	39
標準偏差 (σ)	8	4	5
M + 3 σ を超過した時間数	18 時間	16 時間	19 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	164 nGy	52 nGy	69 nGy

上司測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月	1	2	3
最大	83	66	74
最小	45	46	47
平均 (M)	52	51	52
標準偏差 (σ)	5	3	4
M + 3 σ を超過した時間数	20 時間	17 時間	13 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	153 nGy	28 nGy	85 nGy

地頭測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月	1	2	3
最大	67	55	62
最小	40	36	39
平均 (M)	45	42	42
標準偏差 (σ)	4	3	4
M + 3 σ を超過した時間数	23 時間	6 時間	13 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	91 nGy	13 nGy	37 nGy

(注) 1、2. 前項に同じ。

3. 日出、上司及び地頭測定所は平成25年4月から測定を開始している。

上杉測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月		1	2	3
最	大	62	41	47
最	小	23	21	26
平	均 (M)	29	28	29
標	準 偏 差 (σ)	6	4	3
M + 3 σ を超過した時間数		24 時間	9 時間	22 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計		107 nGy	17 nGy	54 nGy

八津合測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月		1	2	3
最	大	67	52	60
最	小	29	26	35
平	均 (M)	38	36	39
標	準 偏 差 (σ)	7	5	4
M + 3 σ を超過した時間数		20 時間	3 時間	17 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計		104 nGy	2 nGy	72 nGy

盛郷測定所

単位：ナノグレイ/時 (nGy/h)

月		1	2	3
最	大	96	67	81
最	小	30	25	40
平	均 (M)	44	34	50
標	準 偏 差 (σ)	10	8	6
M + 3 σ を超過した時間数		11 時間	7 時間	14 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計		86 nGy	41 nGy	77 nGy

(注) 1、2. 前項に同じ。

3. 上杉、八津合及び盛郷測定所は平成25年4月から測定を開始している。

島 測 定 所

単位：ナノグレイ／時 (nGy/h)

月	1	2	3
最 大	60	47	60
最 小	29	27	33
平 均 (M)	38	34	37
標 準 偏 差 (σ)	5	4	4
M + 3 σ を超過した時間数	16 時間	3 時間	15 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	53 nGy	2 nGy	59 nGy

本 庄 測 定 所

単位：ナノグレイ／時 (nGy/h)

月	1	2	3
最 大	63	44	54
最 小	33	31	33
平 均 (M)	38	36	37
標 準 偏 差 (σ)	4	3	3
M + 3 σ を超過した時間数	13 時間	4 時間	17 時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	69 nGy	2 nGy	54 nGy

伏 見 I 測 定 所

単位：ナノグレイ／時 (nGy/h)

月	1	2	3	過去10年間の変動幅
最 大	60	52	62	46 ~ 87
最 小	38	38	38	35 ~ 40
平 均 (M)	40	39	40	38 ~ 43
標 準 偏 差 (σ)	3	2	4	1 ~ 4
M + 3 σ を超過した時間数	20 時間	21 時間	21 時間	2 ~ 27時間
M + 3 σ を超過した線量の合計	92 nGy	38 nGy	93 nGy	5 ~ 153nGy

(注) 1、2. 前項に同じ。

3. 島及び本庄測定所は平成25年4月から測定を開始している。

イ 浮遊じん中の全アルファ放射能

単位:ミリベクレル(mBq)/m³

調査地点		1月	2月	3月	過去10年間の変動幅
吉坂測定所	最大	66	76	107	18 ~ 196
	平均	19	14	23	5 ~ 62
老富測定所	最大	77	50	141	14 ~ 236
	平均	14	7	21	4 ~ 67
塩汲測定所	最大	28	31	45	13 ~ 91
	平均	10	6	12	3 ~ 32

(注) 6時間集じん、6時間放置後測定

ウ 浮遊じん中の全ベータ放射能

単位:ミリベクレル(mBq)/m³

調査地点		1月	2月	3月	過去10年間の変動幅
吉坂測定所	最大	89	94	140	32 ~ 325
	平均	26	19	30	11 ~ 100
老富測定所	最大	112	75	199	23 ~ 374
	平均	20	10	30	8 ~ 107
塩汲測定所	最大	43	46	62	24 ~ 133
	平均	14	9	17	6 ~ 46

(注) 6時間集じん、6時間放置後測定

エ 空気中のラドン子孫核種濃度

単位:ベクレル(Bq)/m³

調査地点		1月	2月	3月	過去10年間の変動幅
倉梯測定所	最大	14.3	13.5	13.9	8.1 ~ 22.2
	最小	0.3	0.3	0.4	0.1 ~ 0.7
	平均	5.1	3.2	3.5	2.3 ~ 5.1
保健環境研究所	最大	15.5	12.4	13.1	8.7 ~ 16.6
	最小	0.8	0.3	0.6	0.1 ~ 1.3
	平均	5.0	3.1	3.4	2.2 ~ 5.6

2 環境放射能測定車及び環境放射線調査車測定結果

ア 環境放射能測定車による空間放射線空気吸収線量率

項目 地点	月 日	時 間	天候	気温 (℃)	線量率 (nGy/h)			風向・風速 (m/s) (時刻)			線量率過去10年間の 変動幅 (nGy/h)
					最大	最小	平均				
河 辺 原	3月12日	11:00~12:00	晴	11.4	31	30	30	西	2.7	(12:00)	20~57
三 浜	3月11日	13:50~14:50	晴	8.9	28	28	28	北北西	1.7	(14:00)	23~57
多 門 院	3月11日	15:40~16:40	晴	9.9	22	22	22	西	1.8	(16:00)	14~62

(注) 測定値は宇宙線の寄与を含まない。

イ 環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率測定結果

ルート1(東舞鶴地域) 測定月日: 平成26年3月10日(月)
 ルート2(東舞鶴地域) 平成26年3月10日(月)
 ルート3(綾部老富地区) 平成26年3月13日(木)
 ルート4(綾部・西舞鶴地域) 平成26年3月12日(水)

項目	地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ルート1	時刻	9:14	9:22	9:28	9:35	9:42	9:54	10:04	10:17	10:26	10:40	10:49	11:02
	天気	みぞれ	みぞれ	みぞれ	曇	晴	曇	みぞれ	みぞれ	みぞれ	みぞれ	みぞれ	みぞれ
ルート1	線量率(nGy/h)	24	28	30	34	26	22	23	27	34	29	28	31
	過去10年間の変動幅(nGy/h)	22~50	28~53	29~56	30~62	22~58	17~48	17~46	27~58	33~66	22~50	19~53	26
ルート2	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	項目	中丹東保健所	舞鶴市役所前	大波下	中田	河辺由里	栃尾大	山田	井水ヶ浦	野原三	浜		
ルート2	時刻	13:01	13:22	13:37	13:45	13:53	13:59	14:13	14:25	14:39	15:04	15:40	
	天気	曇	曇	曇	曇	曇	曇	みぞれ	雪	曇	曇	曇	
ルート2	線量率(nGy/h)	24	27	23	22	25	26	20	35	23	27	32	
	過去10年間の変動幅(nGy/h)	27	33	22~37	21~36	26~39	24~39	20~37	31~48	20~39	21~65	29~79	
ルート3	項目	1	2	3	4	5	6	7	8				
	項目	上根公民館	上林中学校	綾部市林業者等健康センター	古屋岡町岩村	老富會館	矢黒畑	下迫	中				
ルート3	時刻	13:53	14:44	14:56	15:07	15:27	15:32	15:41	15:49				
	天気	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨				
ルート3	線量率(nGy/h)	35	43	44	48	45	36	33	36				
	過去10年間の変動幅(nGy/h)	35	40	38	47	24~66	17~45	17~49	18~54				
ルート4	項目	1	2	3	4	5	6						
	項目	由良川小学校	上漆原生活改善センター	田岡田中学校	加佐中学校	綾部総合庁舎	綾部総合運動公園						
ルート4	時刻	13:35	13:59	14:14	14:24	14:58	15:21						
	天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴						
ルート4	線量率(nGy/h)	25	36	35	22	31	22						
	過去10年間の変動幅(nGy/h)	30	46	45	28	37	28						

(注)1 測定値は3回行った1分間測定値の平均値である。

2 測定値は宇宙線の寄与を含まない。

3 斜体は平成24年度第4四半期の測定値である。(平成24年度第4四半期から測定を開始)

環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率測定結果

ルート5(福知山市区)

測定月日： 平成26年3月11日(火)

地点		1	2	3
項目		中丹支援学校	福知山市役所 大江支所	高津江公民館
時	刻	11:05	11:41	11:57
天	候	晴	晴	晴
線量率(nGy/h)		35	31	34
過去10年間の 変動幅(nGy/h)		44	37	42

(注)前項に同じ。

環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率測定結果

ルート6(伊根・橋北地区)

測定月日: 平成26年3月19日(水)

ルート7(宮津・栗田・由良地区)

平成26年3月19日(水)

地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9
項目	時	14:03	14:12	14:19	14:30	14:44	14:55	15:03	15:20	15:32
	天候	晴	晴	晴	曇	曇	晴	晴	曇	曇
線量率(nGy/h)		36	32	37	36	28	31	31	36	32
過去10年間の変動幅(nGy/h)		39	-	39	41	31	34	39	37	34
地点		1	2	3	4	5	6	7		
項目	時	9:34	9:47	10:10	10:23	10:49	11:12	11:24		
	天候	曇	晴	晴	晴	曇	曇	晴		
線量率(nGy/h)		33	37	41	50	37	30	39		
過去10年間の変動幅(nGy/h)		34	41	43	54	39	34	40		

(注)前項に同じ。

環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率測定結果

ルート8(京丹波町地域)

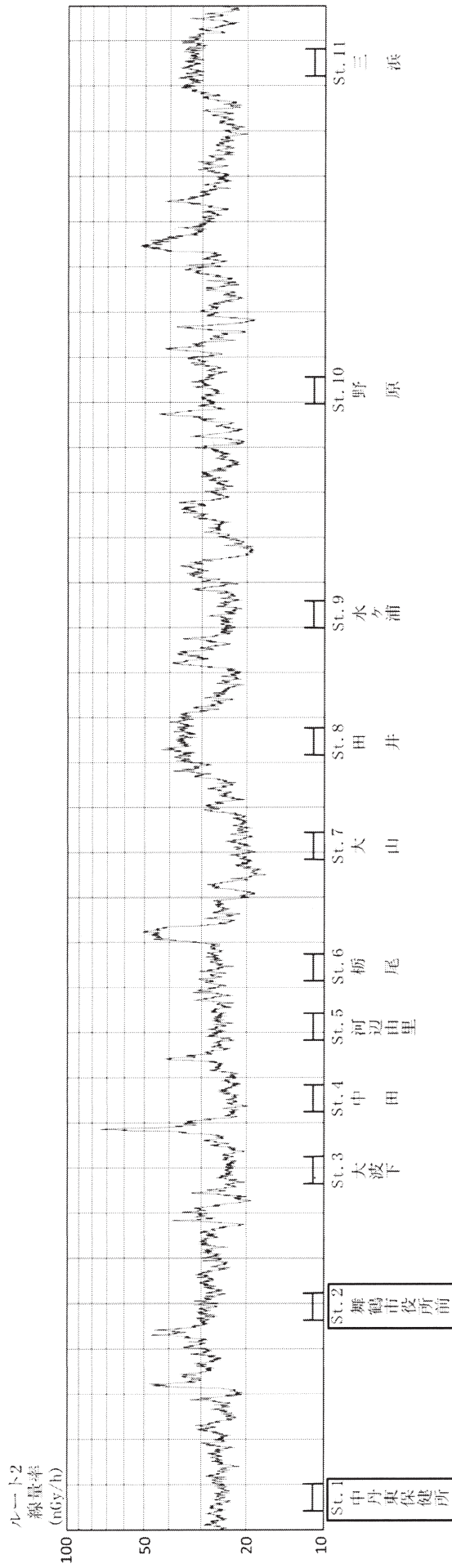
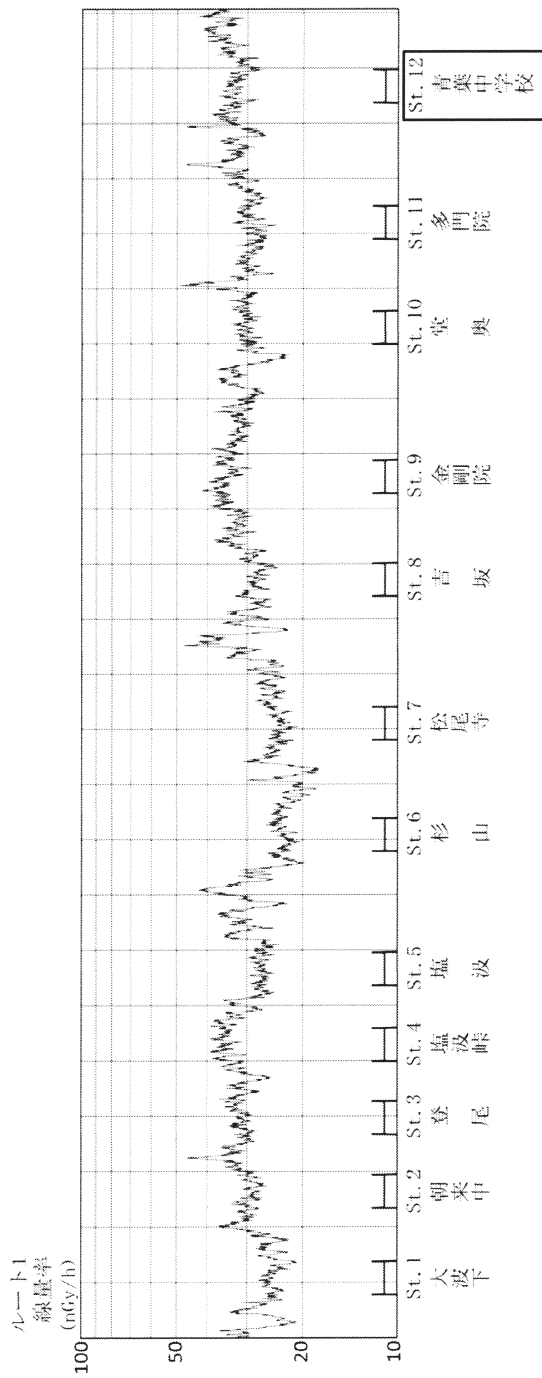
測定月日: 平成26年3月11日(火)

ルート9(南丹市美山町地域)

平成26年3月11日(火)

項目	地点						
	1	2	3	4	5	6	7
時	9:52	10:03	10:19	10:29	10:48	11:05	11:17
天	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
線量率(nGy/h)	37	34	24	29	38	32	36
過去10年間の 変動幅(nGy/h)	40	35	29	31	40	35	37
項目	地点						
	1	2	3	4	5		
時	13:53	14:12	14:24	14:42	15:01		
天	晴	晴	晴	晴	晴		
線量率(nGy/h)	29	29	35	30	32		
過去10年間の 変動幅(nGy/h)	39	40	43	35	37		

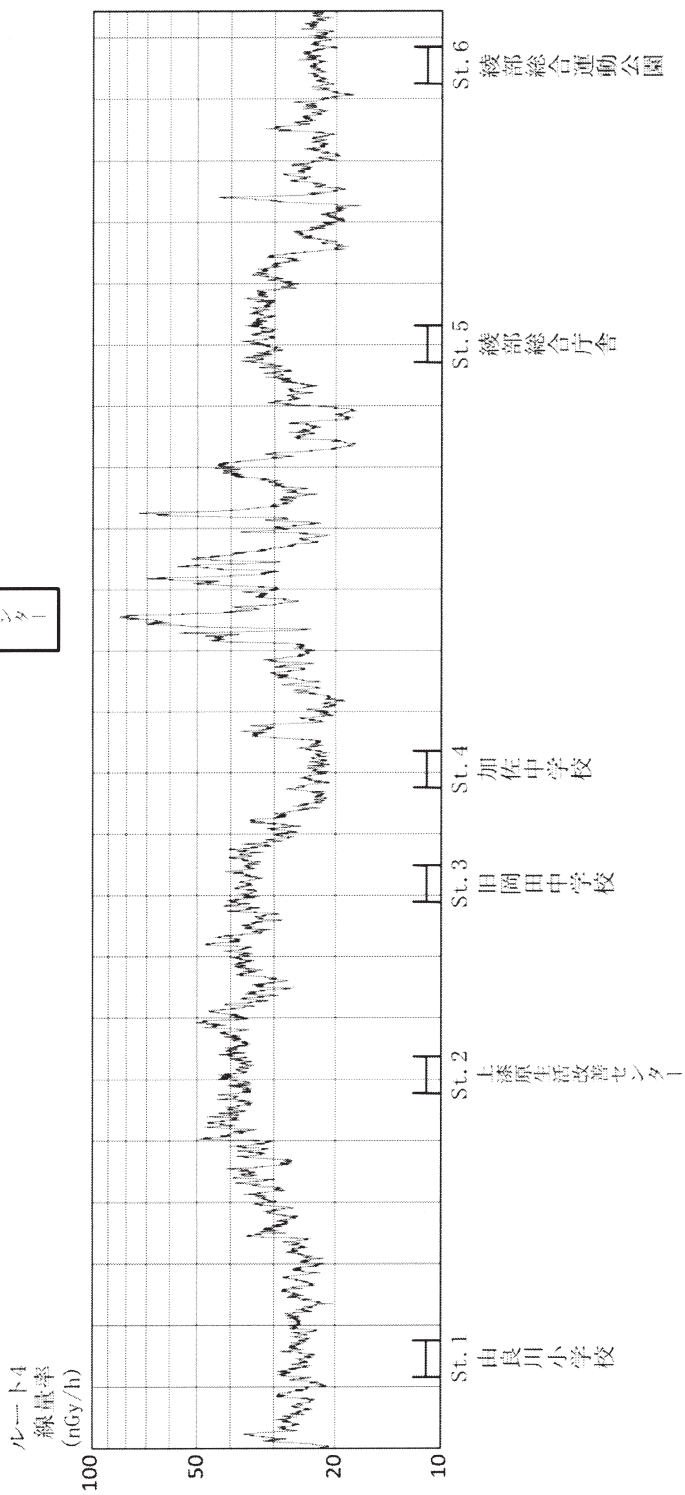
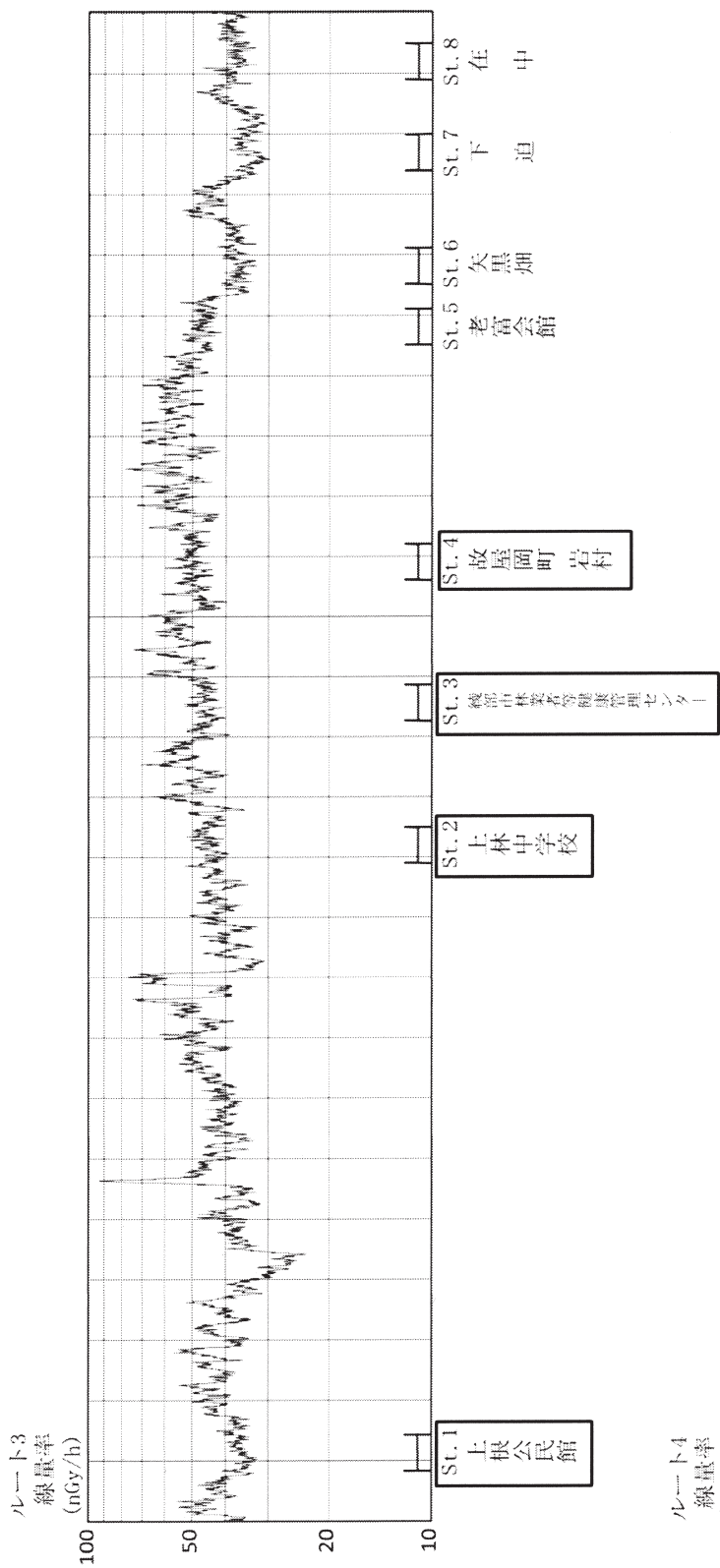
(注) 前項に同じ。



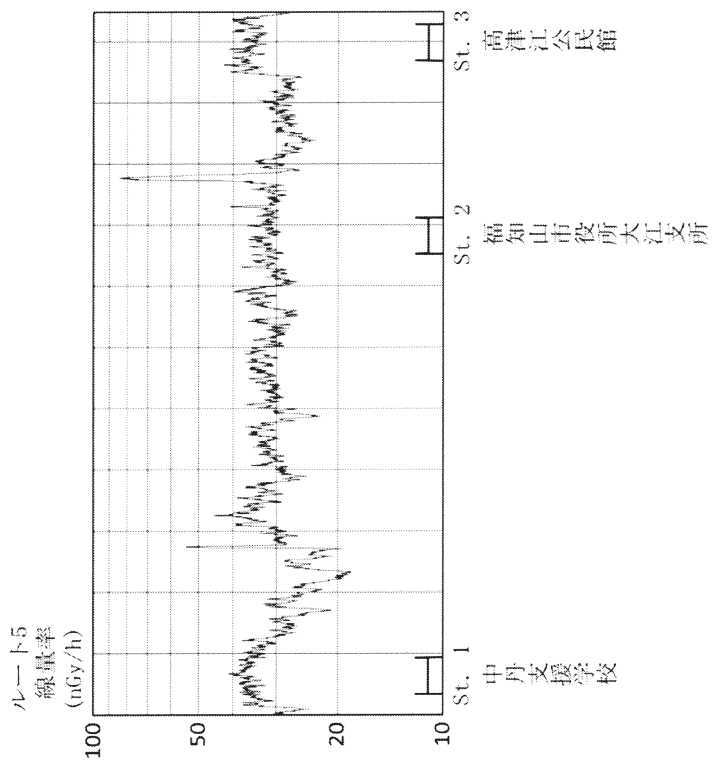
平成26年3月10日)
平成26年3月10日)

(ルート1
(ルート2

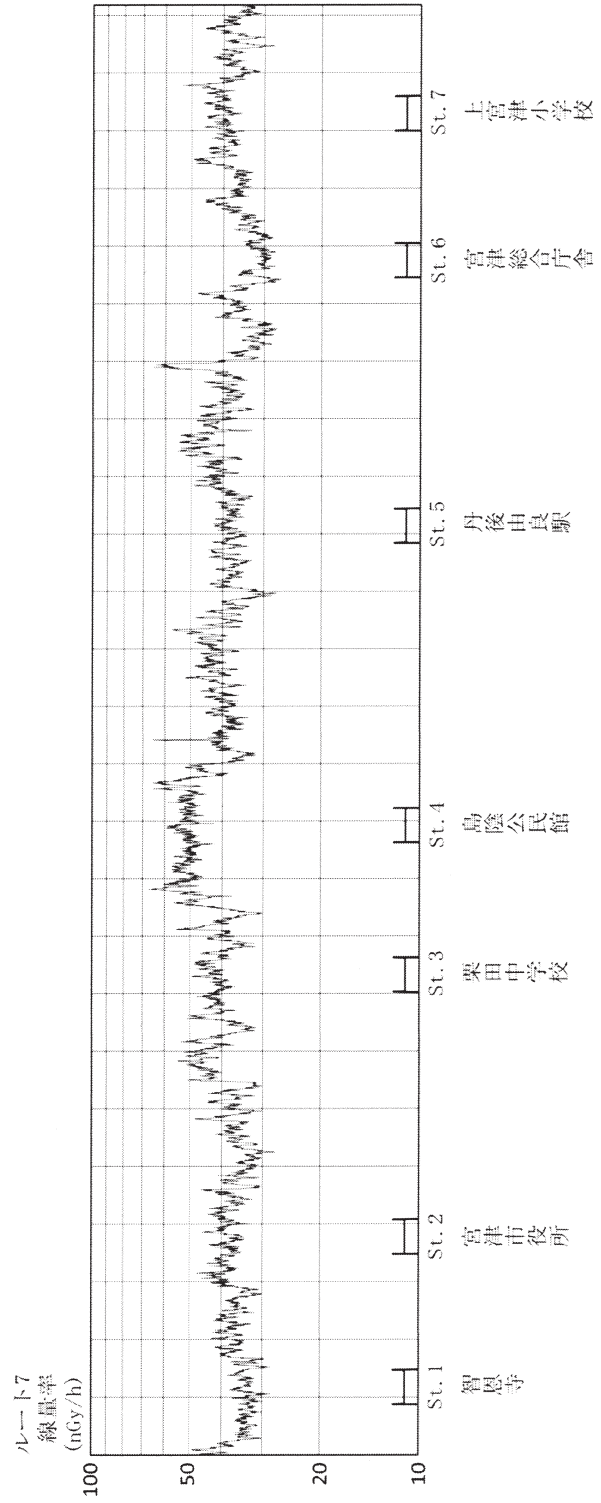
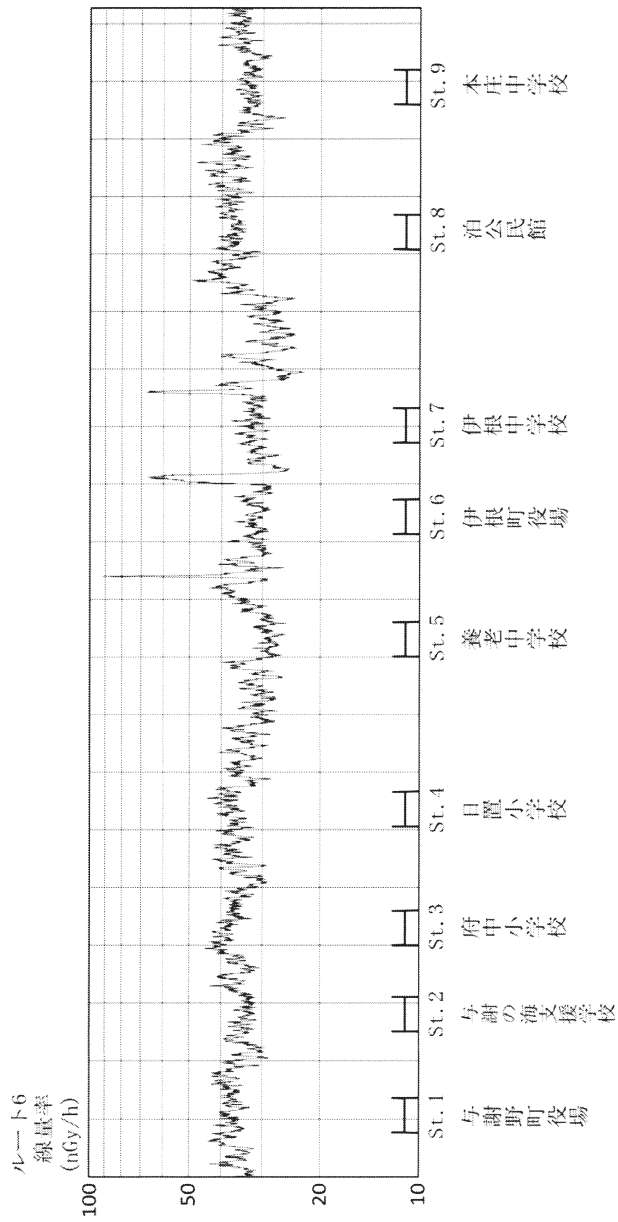
環境放射線調査車 測定チャート



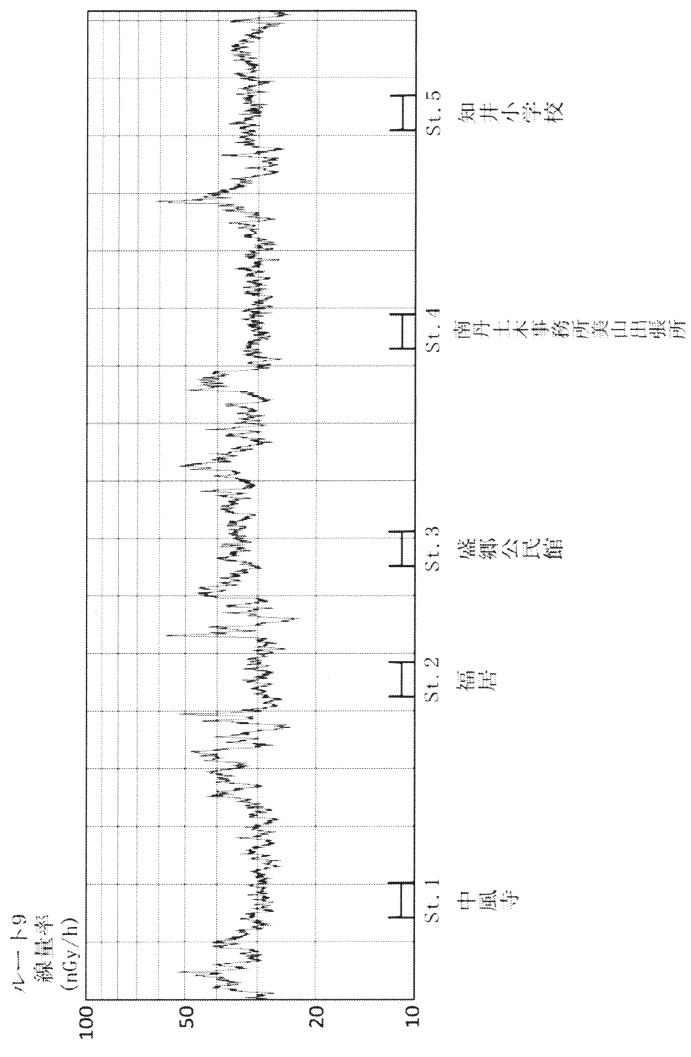
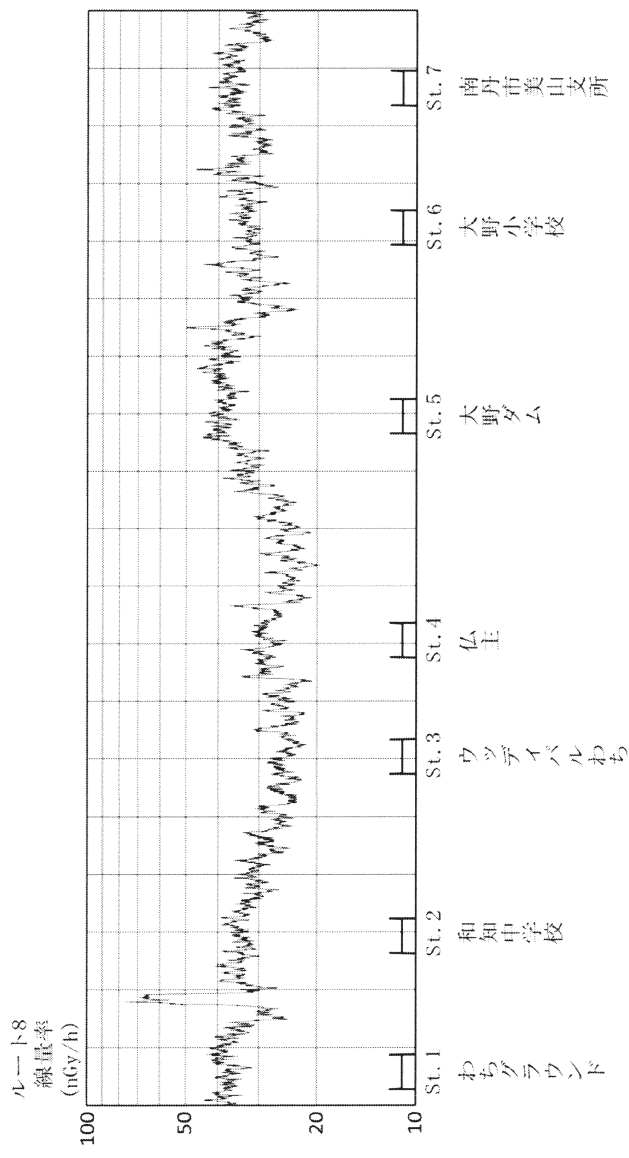
環境放射線調査車 測定チャート (ルート3 (平成26年3月13日)
(ルート4 (平成26年3月12日))



環境放射線調査車 測定チャート (ルート5 平成26年3月11日)



環境放射線調査車 測定チャート (ルート6 平成26年3月19日)
(ルート7 平成26年3月19日)



環境放射線調査車 測定チャート (レポート8 平成26年3月11日)
(レポート9 平成26年3月11日)

3 空間放射線積算線量測定結果

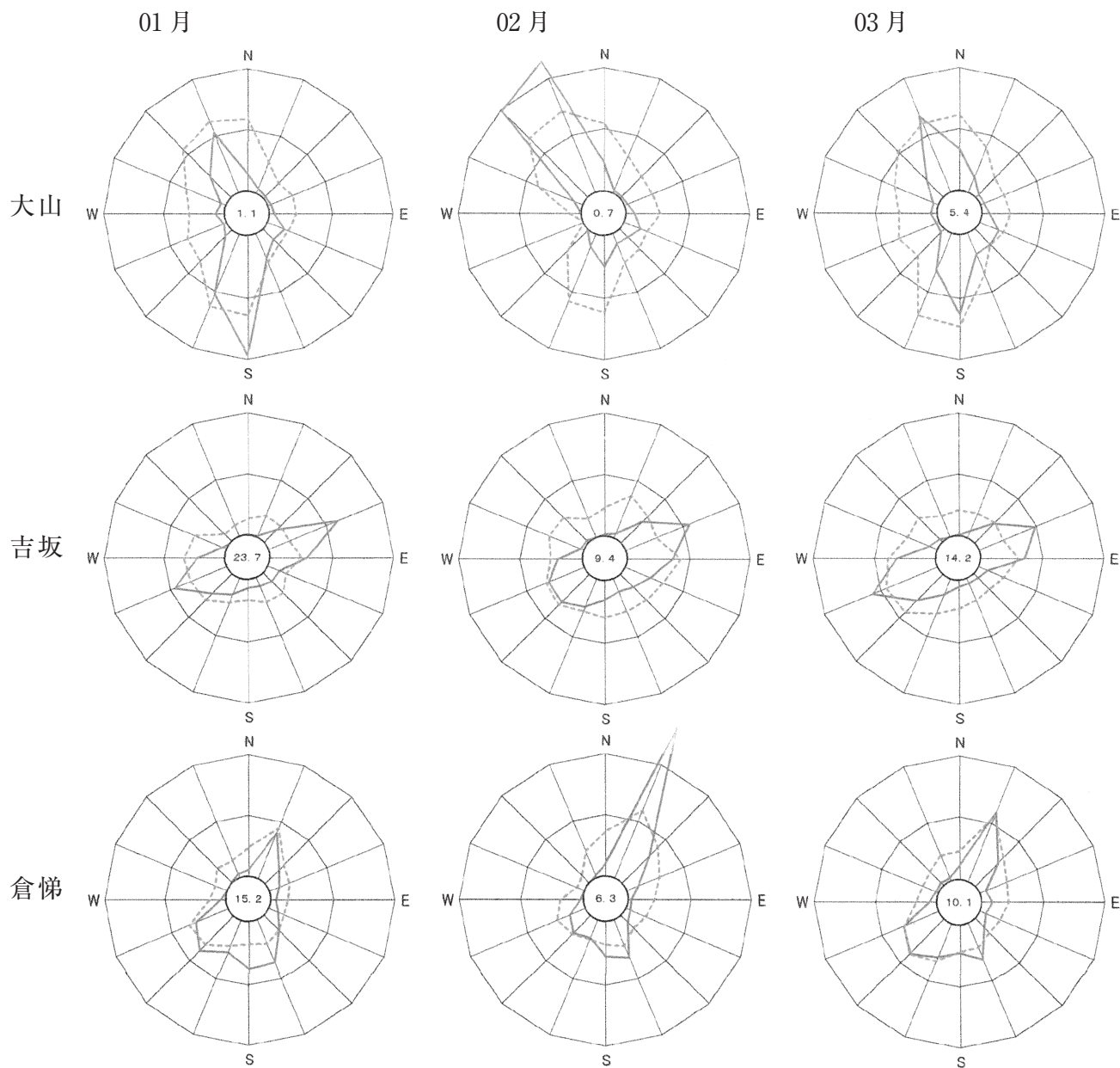
単位：ミリグレイ (mGy)

番号	測定地点	積算線量 (92日換算値)	積算線量の変動幅*
		1～3月	
1	大 山	0.12	0.10 ～ 0.13
2	松 尾 寺	0.10	0.09 ～ 0.12
3	吉 坂	0.13	0.11 ～ 0.14
4	田 井	0.14	0.12 ～ 0.15
5	河 辺	0.12	0.11 ～ 0.13
6	朝 来	0.14	0.12 ～ 0.16
7	金 剛 院	0.14	0.12 ～ 0.16
8	丸 山	0.14	0.13 ～ 0.15
9	大 浦	0.14	0.13 ～ 0.16
10	老 富	0.11	0.10 ～ 0.15
11	倉 梯	0.14	0.13 ～ 0.15
12	夕 潮 台	0.11	0.10 ～ 0.12
13	城 北	0.13	0.12 ～ 0.14
14	水 ケ 浦	0.11	0.09 ～ 0.12
15	野 原	0.15	0.14 ～ 0.17
16	塩 汲	0.13	0.11 ～ 0.15
17	枳 尾	0.12	0.11 ～ 0.13
18	室 牛	0.17	0.15 ～ 0.18
19	杉 山	0.11	0.09 ～ 0.12
20	登 尾	0.13	0.12 ～ 0.14
21	白 屋	0.14	0.12 ～ 0.15
22	志 楽	0.13	0.12 ～ 0.14
23	泉 源 寺	0.13	0.12 ～ 0.14
24	大 波 下	0.14	0.12 ～ 0.15
25	堂 奥	0.11	0.10 ～ 0.14
26	多 門 院	0.10	0.09 ～ 0.10

(注) * は、地点毎の過去10年間の変動幅

4 気象観測結果

ア 放射線測定所別風配図



凡例

- 風向出現頻度
- … 風向別平均風速

最大円周上風向出現頻度 30%
 風向別平均風速 5m/s

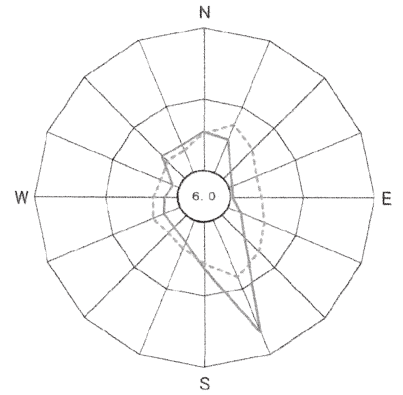
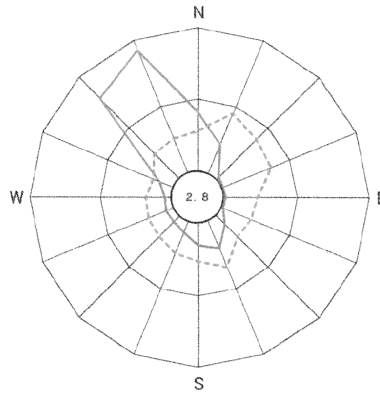
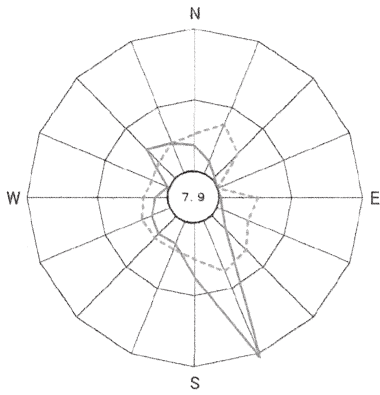
円内中央の数字は静穏時（風速0.3 m /s未満）の頻度を示す。

01月

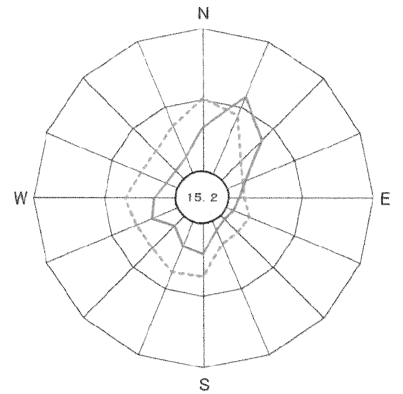
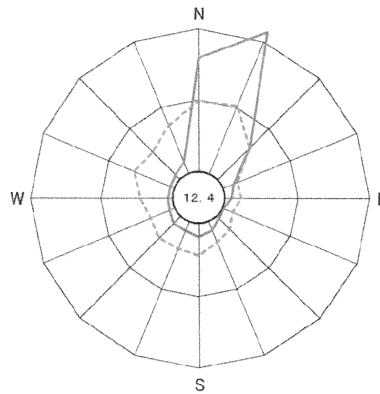
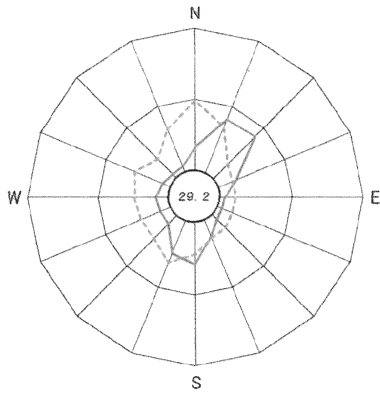
02月

03月

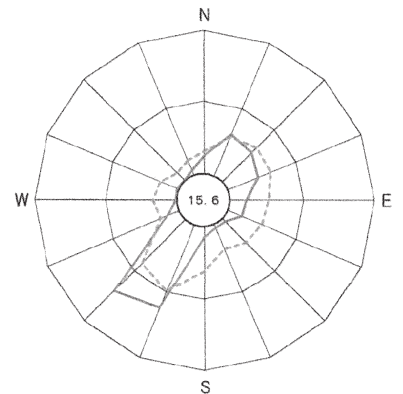
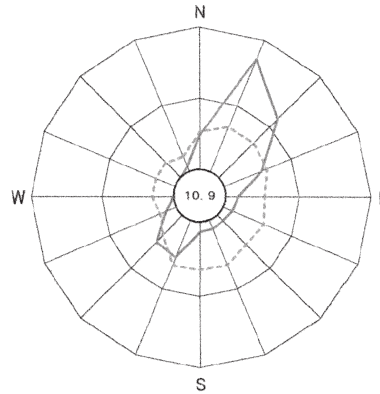
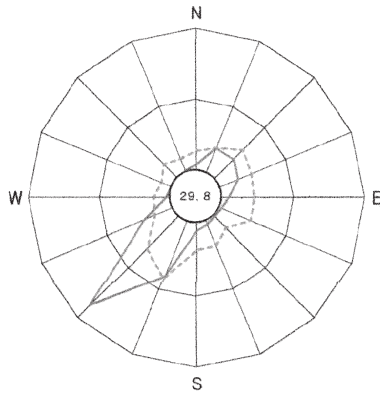
塩汲



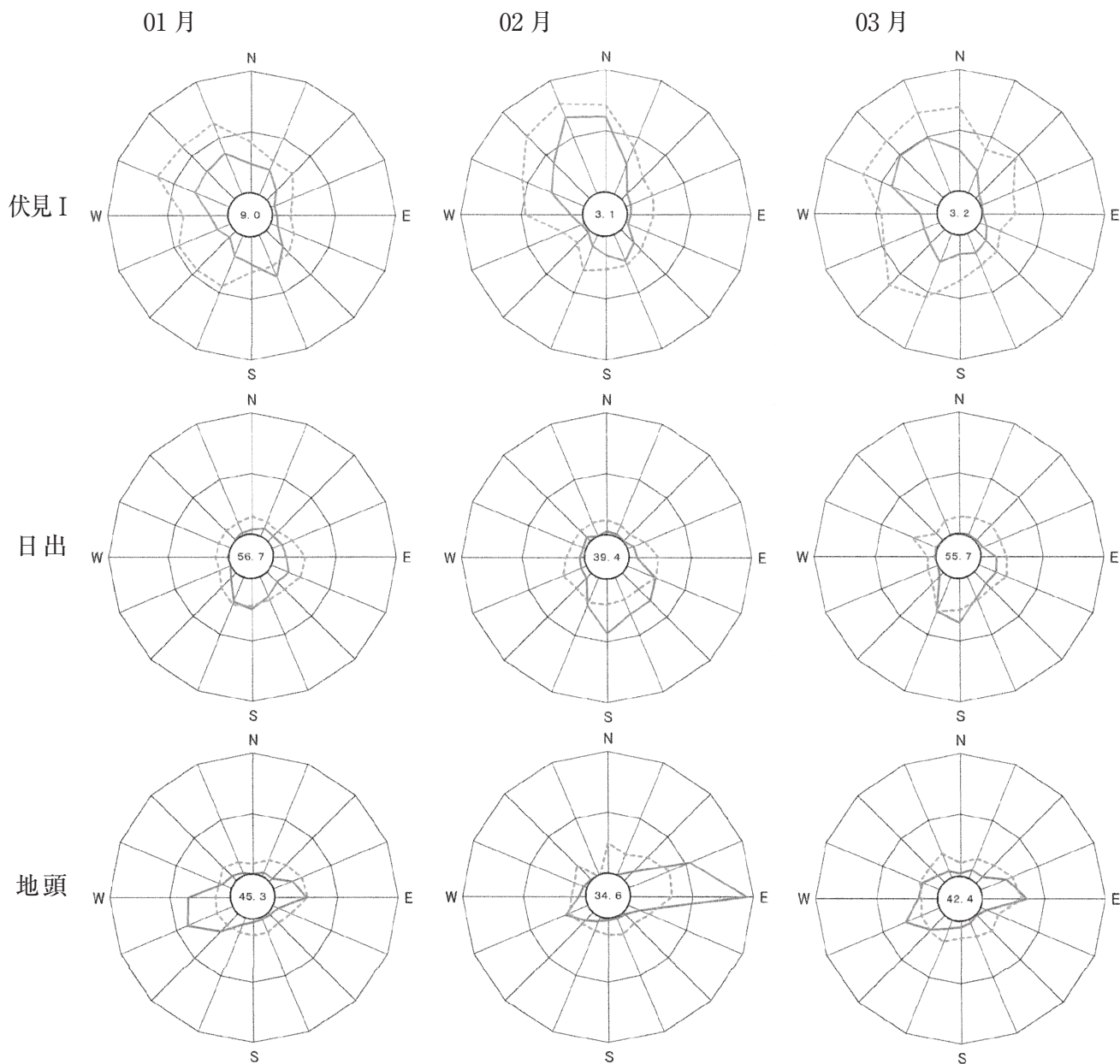
岡安



老富



凡例 前頁に同じ。



凡例

- 風向出現頻度
- ⋯ 風向別平均風速

最大円周上風向出現頻度 30%
 風向別平均風速 5m/s

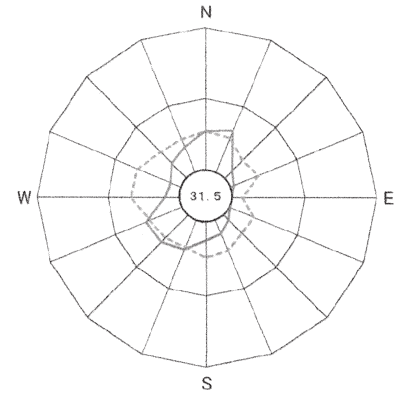
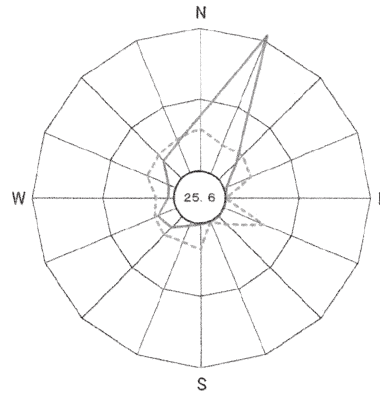
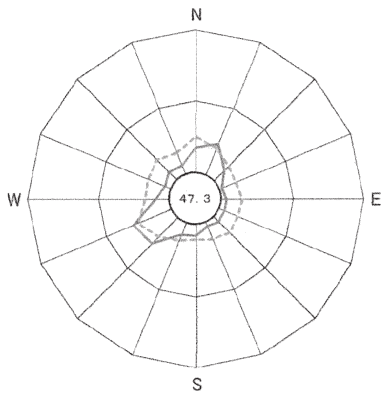
円内中央の数字は静穏時（風速 0.3 m /s 未満）の頻度を示す。

01月

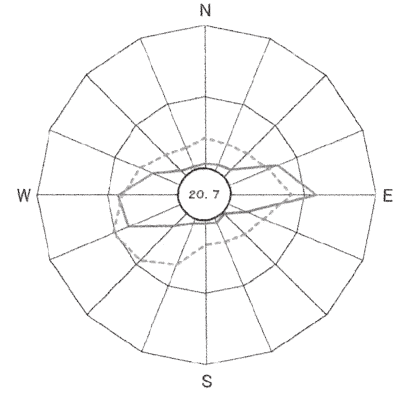
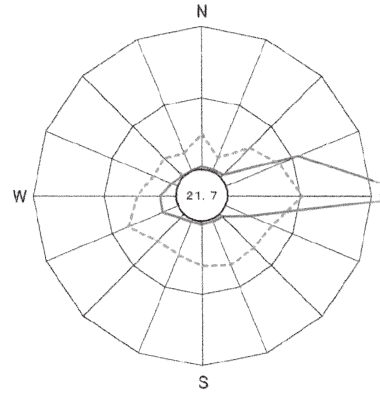
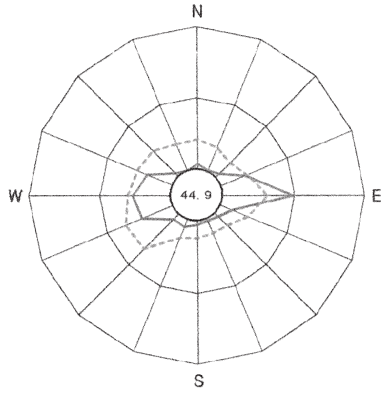
02月

03月

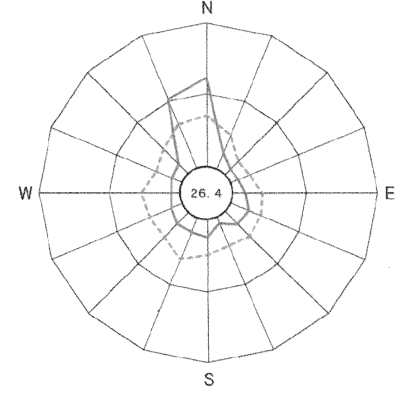
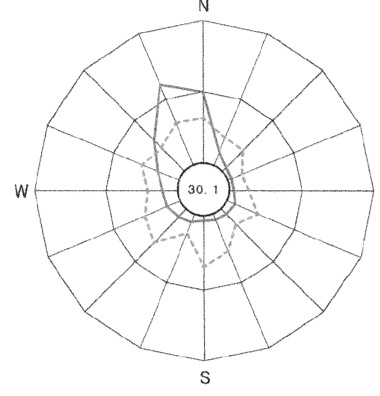
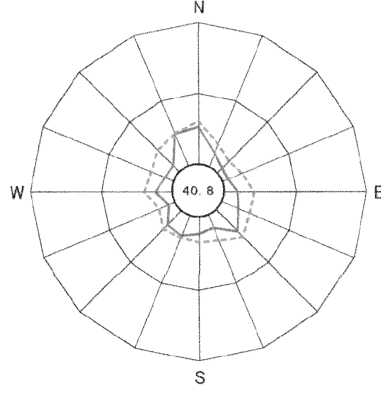
上杉



八津合



本庄



凡例 前頁に同じ。

イ 気温測定結果

単位:℃

測定所名	大山			吉坂			倉梯		
	日平均値の最高	日平均値の最低	平均	日平均値の最高	日平均値の最低	平均	日平均値の最高	日平均値の最低	平均
1	8.6	-0.3	2.8	5.6	0.0	2.0	8.5	0.1	3.0
2	11.8	-1.4	3.3	10.7	-0.5	3.4	11.4	-0.4	3.8
3	15.7	-0.4	6.6	15.4	0.5	6.8	16.4	1.1	7.6

測定所名	塩汲			岡安			老富		
	日平均値の最高	日平均値の最低	平均	日平均値の最高	日平均値の最低	平均	日平均値の最高	日平均値の最低	平均
1	8.2	-0.5	2.3	7.1	-0.1	2.3	4.1	-1.7	0.8
2	11.3	-1.6	2.9	10.9	-0.2	3.7	5.7	-2.2	1.3
3	15.7	-0.4	6.5	15.8	0.8	7.0	14.8	-0.8	5.2

測定所名	日出			地頭			上杉		
	日平均値の最高	日平均値の最低	平均	日平均値の最高	日平均値の最低	平均	日平均値の最高	日平均値の最低	平均
1	10.0	0.4	3.3	5.9	0.4	2.6	7.4	-0.8	2.0
2	11.4	-0.3	3.9	10.0	-0.8	3.4	10.8	-1.4	2.7
3	16.6	0.7	6.7	14.5	-0.3	7.1	16.0	0.1	6.8

測定所名	八津合			本庄		
	日平均値の最高	日平均値の最低	平均	日平均値の最高	日平均値の最低	平均
1	8.5	-1.3	1.3	6.1	-0.2	2.3
2	9.9	-1.8	2.4	9.9	-1.0	3.1
3	15.5	-0.2	6.5	14.0	0.3	6.7

ウ 大気安定度

単位:時間数・()内は%

大気安定度区分		A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	-	TOTAL
吉坂	1	4 (0.5)	29 (3.9)	58 (7.8)	6 (0.8)	13 (1.7)	3 (0.4)	458 (61.6)	1 (0.1)	2 (0.3)	170 (22.8)	744 (100)
	2	2 (0.3)	25 (3.8)	43 (6.5)	5 (0.8)	12 (1.8)	0 (0)	476 (71.5)	4 (0.6)	1 (0.2)	98 (14.7)	666 (100)
	3	16 (2.2)	44 (5.9)	59 (8.0)	20 (2.7)	30 (4.0)	2 (0.3)	372 (50.2)	4 (0.5)	1 (0.1)	193 (26.0)	741 (100)
老富	1	3 (0.4)	24 (3.2)	41 (5.5)	5 (0.7)	13 (1.7)	7 (0.9)	473 (63.6)	5 (0.7)	4 (0.5)	169 (22.7)	744 (100)
	2	5 (0.7)	21 (3.1)	35 (10.0)	4 (0.6)	18 (2.7)	1 (0.1)	504 (75.1)	0 (0)	1 (0.1)	82 (12.2)	671 (100)
	3	13 (1.8)	49 (6.6)	59 (7.9)	5 (0.7)	29 (3.9)	6 (0.8)	423 (56.9)	11 (1.5)	5 (0.7)	143 (19.2)	743 (100)

(注) 1 大気安定度分類表(発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針について)による。

大気安定度区分

A:強不安定 E:弱安定

B:並不安定 F:並安定

C:弱不安定 -:強安定

D:中立

2 1時間毎の大気安定度を月毎に集計したものである。

5 環境試料の核種分析結果

ア ガンマ線放出核種分析結果

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種															
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40										
浮遊じん	—	吉坂	1月1日	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	—	—	—	—	3.3×10^3 $\pm 5.0 \times 10$	—										
			~2月1日																	
			2月1日																	
		~3月1日																		
		3月1日																		
		~4月1日																		
老富	—	老富	1月1日	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	—	—	—	—	3.6×10^3 $\pm 5.2 \times 10$	—										
			~2月1日																	
			2月1日																	
		~3月1日																		
		3月1日																		
		~4月1日																		
降下物	雨量	吉坂	1月7日	MBq/km^2	—	—	—	—	4.6×10^2 ± 1.9	5.2 $\pm 3.1 \times 10^{-1}$										
			~2月4日																	
			2月4日																	
			~3月4日																	
			3月4日																	
			~4月4日																	
		京都市	1月6日								MBq/km^2	—	—	—	—	—	3.2×10^2 ± 1.4	2.2 $\pm 2.3 \times 10^{-1}$		
			~2月3日																	
			2月3日																	
			~3月3日																	
			3月3日																	
			~4月1日																	
海水	表層水	st.3	2月3日	mBq/L	—	—	—	—	—	—										
		海底沈積物	st.1																2月3日	
																			st.2	2月3日
																				2月3日
		st.3	2月3日																	
			st.3																2月3日	
2月3日																				

(注) 1. 測定値 $\pm\Delta N$ において ΔN は計数誤差であり、 $N \leq 3 \times \Delta N$ のとき「検出限界以下」であると、「—」で表わしている。

2. 「/kg生」とは、分析前処理前の試料1kgあたりという意味である。

3. チェルノブイリ事故から福島第一原発事故前までの最大値

降下物：Cs-137 $1.5 \times 10^2 \pm 4.4 \times 10^{-1}$

海水：Cs-137 $6.3 \pm 9.0 \times 10^{-1}$

海底沈積物：Cs-137 $4.9 \pm 4.3 \times 10^{-1}$

イ トリチウム分析結果

試料名	部位	採取地点	採取月日	単位	トリチウム濃度	気温 (°C)	水温 (°C)	過去10年間の最大値
海水	表層水	St. 1	2月3日	Bq/L	-	14.2	11.8	11 Bq/L
		St. 2				14.2	11.6	
		St. 3-1				14.8	11.8	
		St. 3-2				16.0	11.8	
試料名	部位	採取地点	採取月日	吸引量	トリチウム濃度	過去10年間の最大値		
空気中水分	-	大山	3月12日～ 3月27日	59.9 (m ³)	-	(Bq/L-水)	2.3	
					-	(mBq/m ³ -空気)	33	

(注) 1. 測定値 $N \pm \Delta N$ において ΔN は計数誤差であり、 $N \leq 3 \times \Delta N$ のとき「検出限界以下」であるとし、「-」で表している。
 2. 「Bq/L-水」は、水1LあたりのBq、「mBq/m³-空気」は、空気1m³あたりのmBqという意味である。

ウ ガス状ヨウ素分析結果

試料名	部位	採取地点	採取月日	単位	I-131濃度
ガス状ヨウ素	活性炭ろ紙	吉坂測定所	3月13日	μ Bq/m ³	-

(注) 測定値 $N \pm \Delta N$ において ΔN は計数誤差であり、 $N \leq 3 \times \Delta N$ のとき「検出限界以下」であるとし、「-」で表している。